

# 小樽ショートフィルムセッション 2009 開催事業

## 施策のポイント

本事業は、本市に数多く点在している歴史や文化に裏づけされた「まち資源」を活用するため、能動的な働きかけを実施し、宿泊等の経済効果を図るとともに、FC活動のさらなる活性化と市民の啓蒙啓発活動を促すものである。

### 自治体情報

北海道小樽市

人口 / 133,604人

標準財政規模 / 32,135,896千円

担当課 産業港湾部観光振興室

電話番号 0134-32-4111 内線 451

実施主体 小樽市（小樽フィルムコミッション）

関連ホームページ <http://www.otaru-fc.jp/>

事業期間 平成 21 年度

参考とした施策

関係施策分類

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

本市では、歴史や文化に裏づけされた歴史的建造物や産業遺構など映像となり得る「まち資源」が数多く点在しており、映画やテレビドラマなどの撮影映像を通じて「まちの魅力」をPRすることにより、国内外観光客の増加に効果を上げている。しかし、これらの撮影映像の多くは、既存の「まち資源」に頼ったものが多いことから、今後より一層の活性化を図るためには、映画やドラマで紹介されていないような新たな小樽の「まち資源」をPRすることが必要である。

そのため、今までにはないさまざまな視点から撮影された小樽の短編映像を募集し、コンテストを行うことで、新たな小樽の魅力を発見するとともに、映画および芸術文化の発展の契機となること、さらには、ショートフィルム撮影を通じて魅力ある街づくりを推進し、地域経済の活性化を図ることを目的とした。

### 2 取り組みの具体的内容

(1)小樽を撮影地とした実写映像が含まれるもの、(2)小樽をテーマとしたストーリーがあるもの、(3)作品全体の長さが10分以内のもの、という3つの条件を全て満たす作品を募集し、4名の審査員による審査を経て、入賞作品を決定した。また、入賞作品については、今後の小樽市の観光PR用として活用することとした。

### 3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・応募作品数 20 作品（うち入賞作品数 3 作品）
- ・上映会及び表彰式での入場者数 約 300 名

「第1回小樽ショートフィルムセッション2009」概略

作品募集キーワード：ソコココ小樽（ソコにもある、ココにもある、小樽ストーリー）

【開催目的】  
歴史や文化に裏づけされた歴史的建造物や産業遺構など映像となり得るまち資源の魅力を映像やドラマなどで発信し、まちの魅力をPRすること。また、まちの魅力をPRすることにより、国内外観光客の増加に効果を上げている。しかし、これらの撮影映像の多くは、既存の「まち資源」に頼ったものが多いことから、今後より一層の活性化を図るためには、映画やドラマで紹介されていないような新たな小樽の「まち資源」をPRすることが必要である。

【開催】  
映像制作グループ、映画研究などに携わる学生など（プロ・アマ問わず）

【募集する作品】  
以下の条件を満たす作品を募集するもの  
・小樽を撮影地とした実写映像が含まれるもの  
・小樽をテーマとしたストーリーがあるもの  
・作品全体の長さが10分以内のもの

【作品募集期間】6月15日（日）～12月4日（金）（当日締め付け）

【賞状】総額30万円以内、最優秀賞1名、優秀賞2名、入賞作品

【応募方法】  
応募期間内に、小樽フィルムコミッションホームページ <http://www.otaru-fc.jp/> から応募用紙をダウンロードし、作品DVDは必ず応募用紙を添付して、小樽フィルムコミッション事務局（〒157-8501 小樽市南10丁目1番1号）へ送付するが、直接応募して可也。

【上映会】3月上旬に開催し、入賞作品の上映、表彰式を行う予定。

【問い合わせ先】  
小樽フィルムコミッション事務局（小樽市産業港湾部観光振興室内）  
〒157-8501 小樽市南10丁目1番1号  
TEL:0134-32-4111（内線451）、FAX:0134-32-7102  
Eメール: [otaru-fc@www.otaru-fc.jp](mailto:otaru-fc@www.otaru-fc.jp)

